



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 2002, 77(6):
1063-1063

ISSUE DATE:

2002-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/97189>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成14年3月20日発行(毎月1回 20日発行)
物 性 研 究 第77巻 第6号

ISSN 0525-2997

vol.77 no.6

物性研究

2002 / 3

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

私が大学院生のとき所属していた研究室の「論文紹介」ゼミは、今思い返すと有意義なものだった。最新の雑誌の中から速報的な論文を一つピックアップして紹介するのであるが、「研究者はいろいろなことに好奇心をもつべし」という理念から、論文選びにあたって自分の専門分野に直結したトピックスに固執することは必ずしも推奨されなかった。久々にその当時のレジュメを本棚から取り出してみたら、原子・分子、固体、流体から天体物理まで、対象や手法(理論・実験)を問わず、さまざまな論文が現れた。論文の内容を他人にわかりやすく説明するためには、まず自分自身が問題の核心を把握していなければならないし、聴衆・読者の立場を配慮したプレゼンテーションが大切であることを学んだ。

「物性研究」に登場する論文も、テーマやアプローチの面で実に多岐にわたっている。それらを通じて、読者が自分の専門領域はもちろんのこと、自らの守備範囲を超えて好奇心の対象を広げることができれば大変有益であろう。物性論という一つの広大なテーマに対してさまざまな角度から焦点を当て、それが知的交流の促進に少しでもつながればと、編集委員の一人として望んでいます。

(H. K.)

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
佐々木 豊 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美徳 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (京大・基研／在フランス)
森成 隆夫 (京大・基研／在アメリカ)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

私が大学院生のとき所属していた研究室の「論文紹介」ゼミは、今思い返すと有意義なものだった。最新の雑誌の中から速報的な論文を一つピックアップして紹介するのであるが、「研究者はいろいろなことに好奇心をもつべし」という理念から、論文選びにあたって自分の専門分野に直結したトピックスに固執することは必ずしも推奨されなかった。久々にその当時のレジュメを本棚から取り出してみたら、原子・分子、固体、流体から天体物理まで、対象や手法(理論・実験)を問わず、さまざまな論文が現れた。論文の内容を他人にわかりやすく説明するためには、まず自分自身が問題の核心を把握していなければならないし、聴衆・読者の立場を配慮したプレゼンテーションが大切であることを学んだ。

「物性研究」に登場する論文も、テーマやアプローチの面で実に多岐にわたっている。それらを通じて、読者が自分の専門領域はもちろんのこと、自らの守備範囲を超えて好奇心の対象を広げることができれば大変有益であろう。物性論という一つの広大なテーマに対してさまざまな角度から焦点を当て、それが知的交流の促進に少しでもつながればと、編集委員の一人として望んでいます。

(H. K.)

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
佐々木 豊 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美德 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (京大・基研／在フランス)
森成 隆夫 (京大・基研／在アメリカ)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 77 卷 第 6 号 (平成 14 年 3 月号) 2002年 3 月20日発行

発行人	関 本 謙	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 企 業 組 合 昭 和 堂 印 刷 所	〒606-8225	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL(075)721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 77-6 (3月号) 目 次

○講義ノート

- ・「第46回 物性若手夏の学校(2001年度)」(その2) 953

○博士論文解説

- SrCu₂(BO₃)₂に対する直交ダイマー・ハイゼンベルグスピン系の理論
.....宮原 慎..... 1041

- 編集後記..... 1063

- 目 録 (Vol. 76, 77) 1065

物 性 研 究 77-6 (3月号) 目 次

○講義ノート

- ・「第46回 物性若手夏の学校(2001年度)」(その2) 953

○博士論文解説

- SrCu₂(BO₃)₂に対する直交ダイマー・ハイゼンベルグスピン系の理論
.....宮原 慎..... 1041

- 編集後記..... 1063

- 目 録 (Vol. 76, 77) 1065